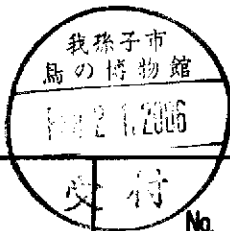


寄 贈



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 90

1989年

9-10月号

行事案内

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 9月15日(金・祭) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
(終了 正午頃)

案 内 ユリカモメが帰ってきます、アジサシ、ショウドウツバメが渡ります。渡りを前にしてのサシバの親子の飛行訓練がみられるといいですね。

担 当 坂巻、飯泉、木村、小池、西城

シギ・チドリ類調査

期 日 9月15日(金・祭) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午後1時30分

案 内 車に便乗して、北新田・布施地先を調査します。秋のシギ・チドリはあたりはずれが多いですが、サギ類が沢山集まっています。ケリは来ているでしょう。

担 当 飯泉、木村、小池、大野、西城

高浜探鳥会

期 日 9月23日(土・祭) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前8時30分
我孫子発8時53分平行の電車に乗車予定。切符は高浜まで。

案 内 霞ヶ浦に注ぐ恋瀬川の湿地帯の鳥たちを探すことにしました。たまには、

かわった所の秋の風を味ったらというご希望がありました。のんびりしたいと思います。

持 物 昼食と飲料水、その他。
担 当 飯泉、木村、大野。

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 10月8日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
(終了、正午頃)

案 内 去年は、サシバが数羽残っていました。ノビタキの渡りもみました。沼には冬鴨のはしりが来ていました。

担 当 坂巻、飯泉、小池、西城。

筑波山探鳥会

期 日 10月15日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅南口 午前9時

交 通 自家用車便乗(便乗者は便乗費を)

案 内 小鳥たちの秋の渡りは密やかです。

1種でも出会えたら、深い印象となります。ノスリは舞ってくれるでしょう。

持 物 昼食と飲料水。

担 当 飯泉、木村、大野

予約申込先 TEL (0471-43-7403) 飯泉



ホタルの園の整備と清掃

下記により、ホタルの園の整備と清掃を行います。

皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

記

期 日 10月22日(日)

集 合 ホタルの園 午前9時

作業用具と昼食等は会で準備します。

鎌があったらご持参願います。

担 当 坂巻、水村、木村

◇ 行事報告

○ 小見川探鳥会 (5月28日)

<認めた鳥> カイツブリ、ヨシゴイ、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、ヨシガモ、バン、オオバン、コチドリ、キョウジョシギ、シギSP(クサシギ?)、コアジサシ、キジバト、カッコウ、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、モズ、オオセッカ、コヨシキリ、オオヨシキリ、セッカ、コジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ホオジロ、計31種。

<参加者> 西巻 実、立川利久・節子、松本庸夫、小野勇亮、高橋知也、橋本昌治、西城 猛、大野真澄、庄崎富佐子、金子厚子、安本昌彦、小野勝義、玉井正博、坂巻忠雄、以上15名。



○ 奥日光探鳥会 (6/3~6/4)

戸谷 輝夫

奥日光といえば戦場ヶ原。草原・湿原・湖沼・川・滝・森林と変化に富んだ環境のためか、森林性の鳥から溪流の鳥まで種類もかなり多いと聞いて、勇んで参加させて頂きました。

例によって我孫子中央公民館から今井観光さんのバスに乗って出発です。そしてこれも例によって早速酒盛りが後部座席あたりで始まりました。これがまた、この会の楽しみでもあり、あっと言う間に明智平まで来てしまいました。ここで早速アマツバメ・イワツバメの歓迎を受け、道端に登っては持参の弁当をパクつきながら探鳥の開始です。

いよいよ戦場ヶ原に到着です。赤沼から自然研究路が湯川に沿って森林~草原~湿原の中へと続いている。森の中へ入ると早速コガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、オオルリが可愛い声で迎えてくれました。

川添いの道ではキセキレイが盛んに尾を振り巣を守っていました。また青木橋のたもとではコサメビタキが抱卵しているのか木枝の上に巣を作ってじっとしているのが手に取るように見ることが出来ました。この穏やかな自然の中に、ひっそりと、しかし確実に鳥達の生の営みが繰り返されているのを見ると、何か心安まるものを感じるのには私だけではないでしょう。

途中の木道では小学生の団体と何度かすれ違ったが、その度に元気な挨拶を交してくれました。鳥の声と共に心地よい声でした。

泉門池ではマガモが北へ帰らずに暮しているのが見えました。聞くところで繁殖もしているとのこと、鳥の順応性にまた感心させられます。

今日の宿「あやめ山荘」に着きました。皆の表情にとまどいが出る程の外観でしたが、

部屋割をし、風呂、食事と進む中で、私達もすぐに常連客の様に振舞い、順応していったようです。

夜も例によって鳥の声を聞きに付近を出歩きましたが鹿らしいひと鳴きだけで終り、残念でした。

翌日は早朝から付近を散策。アカハラの声に導かれ林の中に入ると、新緑の中で鳥達が次々と現れ、また囀りを聞かせてくれました。ニューナイスズメ、カッコウ、キビタキ、アオジと満喫の森のプロムナードでした。

戦場ヶ原の見晴台に立つと、目の前の草原にアカハラやノビタキが姿を見せ、じっくりと観察できました。そろそろお腹の虫も鳴き出した様で、朝の散歩はこれでおしまい。

朝食後は大きく場所を変えて霧降高原へ直行。ウグイス、ビンズイ、コルリ、ツツドリを楽しみ、最後に少々訛ったホオジロが大サービスをしてくれました。

最終コースは大笹牧場で昼食。牛肉に舌づつみを打った後は、牧場に入って牛に囲まれながらの鳥探しでしたが、お目当てのワシタカは一瞬姿を見せただけで確認できず。その代りカッコウが、そばまで来てなぐさめてくれました。

あとは夫々思い思いの自由行動でしたが、サイクリングで転倒した飯泉さん！大したケガでなく本当に良かったと思います。大変お世話になりました。有難うございました。

<認めた鳥> カイツブリ、コサギ、マガモ、トビ、オオタカ、ノスリ、コチドリ、キジバト、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、コルリ、ノビタキ、アカハラ、ウグイス、エゾムシクイ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ホオアカ、アオジ、ニューナイスズメ、スズメ、ムクドリ、カケス、

ハシボソガラス、ハシブトガラス(計47種)番外、シカ。

<6月3日~4日参加者> 川端英雄、村井治・登代、首藤佑吉・美恵子、浜田田鶴、坂巻忠雄、西巻実、国安テル子、安本昌彦、戸谷輝夫、赤尾完・弥生、大野真澄、三神鶴吉・淑子、戸塚道、立川利久・節子、柴田五郎、小野勝義、深谷幸枝、庄崎富佐子、木村稔・正子、飯泉仁・久美子(計27名)

○ ホタル池清掃(6.18)

坂巻 忠雄

葦がこの池を気に入ったのか今年も多い。人間の背丈程にも伸びた葦を刈り取るのが、主な作業、各自馴れた行動で分担し作業が進められる。カワセミが2度応援の為か姿を見せる、清掃された池はカワセミが小魚をとり易くなるので喜こんでいるのだろう等とカワセミ談議に疲れも忘れる。

午前中かかって刈られた草やゴミはトラック2台に満載して運び去る。今年もたくさんのホタルが発生してくれるようお願いながらきれいになった池を後にする。

皆様お疲れ様でした。

<参加者> 赤尾 完・弥生、川端英雄、桐石 明、木村 稔・正子、国安テル子、坂巻忠雄、首藤佑吉・美恵子、高橋敏夫、浜田田鶴、水村国雄。 以上13名。



○ 富士山御中道探鳥会 (1)

(7月8日—9日)

富士御中道の鳥たち (十句)

中
ひろし

白^{しら}松^び曾^その径や目細の声澄める
びんずいのかの高鳴きや霧の中
御^{おん}蓼^たは旧知の花や夏の霧
ひざまづく富士旗竿の白き花
有合はす白^{しら}松^べの杖や夏の雪
奥庭へ下りとなりぬ瑠^る璃^り鷓^び鴒^た
夜鷹鳴くと出でし山頂星月夜
星合の翌のからす座ありにけり
朝の水場真先に来しは星鴉
照^う鷺^そも来てゐる梅雨の水場かな

<7月8~9日富士山>トビ、キジバト、アマツバメ、イワツバメ、ビンスイ、カヤクグリ、ミソサザイ、ルリビタキ、ウグイス、メボソムシクイ、キクイタダキ、ヒガラ、ウソ、ヨタカ、ホシガラス、ハシボソガラス (計16種)

<富士山参加者>小野勝義、首藤美恵子、浜田田鶴、中弘・迪子、庄崎富佐子、飯泉久美子、飯泉仁 (計8名)

(2)は次号となりました。

○ ホタル観賞会 (7月9日)

小学2年 武藤真理子

かぞくで、「ホタルかんしょう会」に行きました。

ホタルは、ありぐらい小さくて、もっと明るいひかりを出す虫だとかんがえていました。ホタルの里について、ひかっているホタルをみたらかんがえているものと、すごくちがいました。

まっくらやみの中で、ホタルのひかりがキラキラひかっけてきれいでした。とんできたホタルを、手でとって、かい中電とうで、てらしてみたら、まっくろくてくびだけが赤いことがわかりました。手の中でピカピカひかっているホタルをみていたら、このまうちにもって帰りたくなりました。おかあさんにきいてみたら、「うちまではもって帰れないだよ」といわれました。むかしは歩いていると、まっしょうめんから、ホタルがぶっかってくるほどいたそうです。ホタルがりにいって、「ホタルかご」といういれものに入れて、うちにもって帰ることができたということです。そんなにいっぱいホタルがいたらいいなあ!!と思いました。

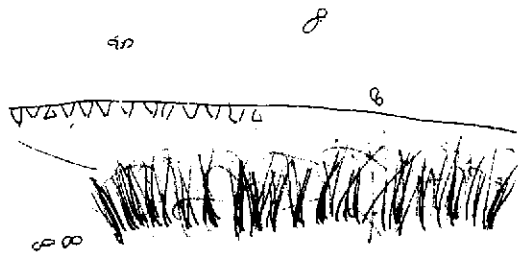
小学4年 武藤 茂

ホタルは、1年から2年でせい虫になるからきたない水や、農薬をまかないようにすると、今よりいっぱいホタルが育つと思います。まわりの田んぼ一ぱいにホタルが、ピカピカ光ってくれるようになったら、すてきだろうな!!

新木小学校2年2組 大野将史

ぼくは、ではじめなのにいっぱい出たなと思いました。ザリガニとかドジョウとかが、水たまりにいたので気をつけてあるきました。うしろにあった田んぼにも、ホタルがなんび

きかいました。ぼくがとったホタルの数は2ひきでした。ほかにもとれそうなホタルはいいましたが、手がとどかなかったり手がみじかくてとれなかつたりして、なんびきかとりのがしてしまいました。とったホタルのおしりのところを見てみるとつかまえたホタルは、ぜんぶおすでした。かんさつしたホタルは、ぜんぶにがしました。



コメント (付添いで参加のお母さんから)

荒天の中、大変お世話になりありがとうございました。夜になるまで本当に観賞会が行なわれるのか心配でしたが多勢の方がこられてよかったですね。多勢の方がこられる前に足場を整える姿を息子たちに見せていただけるとてもよかったと思います。

メモ

天候が悪かったにもかかわらず市役所前で約80名、現地に着の方約20名、計約100名の参加で、賑かにたのしいひとときを過ごしました。

今年は天候不順でホタルの発生がおくれ、心配されましたが、この夜は数は少なかったが、かたまって群をなしたカ所が3つもあって、数の割には豪華な光の群に皆さん満足されたようでした。 (高橋)

○ 手賀沼カウント

調査日時 1989. 5. 14 (曇) 9:20~12:00			
<カウント班> 首藤佑吉・美恵子、 中尾照平・米子、飯泉 仁・久美子、 牧野陽子・浜田田鶴 以上8名			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	2	8	10
ゴイサギ	—	2	2
ダイサギ	1	1	2
チュウサギ	—	1	1
コサギ	—	2	2
アマサギ	1	1	2
マガモ	—	1	1
カルガモ	21	17	38
コガモ	—	2	2
オオバン	2	16	18
ムナグロ	—	43	43
キョウジョシギ	—	1	1
キアシシギ	—	1	1
アジサシ	—	6	6
コアジサシ	1	17	18
サシバ	—	1	1
計 16種	28	120	148

<参考>湖北台下水田

ムナグロ25、ウズラシギ1、キョウジョシギ1、タカブシギ8、トウネン2、タシギ1、バン2。

調査日時 1989. 6. 14 (小雨) 9:30~12:00	
-------------------------------------	--

<カウント班> 松本庸一郎、小池 忠 首藤佑吉・美恵子、飯泉 仁・久美子、 田丸喜昭、西城 猛、金子厚子、木原葉 子、高橋敏夫 以上11名			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	5	3	8
ヨシゴイ	8	4	12
ゴイサギ	13	8	21
アマサギ	—	9	9
チュウサギ	—	8	8
コサギ	—	7	7
カルガモ	16	12	28
バン	2	1	3
オオバン	17	4	21
アジサシ	2	1	3
コアジサシ	7	2	9
サシバ	—	1	1
コチドリ	—	1	1
カワセミ	1	—	1
計 14種	71	61	132

<他に認めた鳥> キジバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、オオヨシキリ、セッカ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス。
計17種 合計31種。

調査日時 1989. 7.16 (小雨) 9:30~12:00	
<カウント班> 飯泉 仁・久美子、 川端英雄、大野真澄、畑 幸正、中尾照 平・米子、以上7名。 <探鳥班> 坂巻忠雄、木村 稔・正子、	

木原葉子、首藤美恵子、浜田田鶴、三神
鶴吉、植田由紀子、以上8名 計15名

鳥種	上沼	下沼	計
カイツブリ	8	8	16
ヨシゴイ	6	5	11
ゴイサギ	3	6	9
ダイサギ	1	5	6
コサギ	1	23	24
カルガモ	20	10	30
バン	1	—	1
オオバン	26	5	31
タマシギ	—	1	1
アジサシ	1	—	1
コアジサシ	6	58	64
カワセミ	1	—	1
計 12種	74	121	195

〈他に認めた鳥〉 キジバト、ヒバリ、ツバ
メ、イワツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、
モズ、オオヨシキリ、セッカ、ホオジロ、カ
ワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラ
ス、ハシブトガラス、計15種、合計27種。

“鳥だより”

1989年

3. 15 〔利根遊水池〕ツバメ(1)
木原葉子
4. 14 〔あけぼの山公園〕カケス(34)
- “ 17 “ カワセミ
- “ “ 〔布施〕サシバ(2)
以上 西巻 実
4. 16 〔染井入り〕ムナグロ(18)
首藤美恵子
4. 19 〔高野山先沼〕コアジサシ(3)
木原葉子
4. 20 〔高野山〕アオバズク

4. 21 〔新木野〕ホトトギス
横山光行
4. 22 〔下沼〕コチドリ(2)
大野真澄
4. 29 〔峠下広場〕コガモ(8)
高橋敏夫
ムナグロ(24) 木原葉子
4. 30 〔弁天下〕セイタカシギ(3)
- “ “ 〔久寺家〕ヒヨドリ(70)北へ
以上 西巻 実
- “ “ 〔弁天下〕アカエリヒレアシシギ
(1) チョウゲンボウ(1)
以上 飯泉 仁
5. 2 〔下沼〕カワウ(1)
中 弘
5. 4 〔高野山〕エゾセンニュウ
高橋敏夫
5. 5 〔弁天先〕セイタカシギ(1)
飯泉 仁
5. 8 〔高野山〕フクロウ
- “ 10 〔 “ 〕 センダイムシクイ
(2) 高橋敏夫
5. 13 〔土谷津〕アオバズク(2)
- “ 29 〔 “ 〕 “ 巢見張中(1)
西巻 実
5. 26 〔緑〕ウグイス 嘸鳴
- “ 30 〔利根遊水池〕モズ(2)
6. 7 〔下沼遊歩道〕ヨシゴイ
〔峠下東広場にて傾斜林〕
ウグイス 嘸鳴
- “ “ 〔古利根〕モズ(3)
チョウゲンボウ(1)
以上 木原葉子
6. 19 〔鳥類研究所〕シジュウカラ
親(1)ヒナ(3)
笹川昭雄
7. 2 〔古利根〕カッコウ
島崎純造
7. 19 〔五本松〕ヨタカ
中 弘

7. 19~20 [高野山] アオバズク 2羽
 巣立ち 横山光行
 7. 23 [土谷津] アオバズク (3) 内
 ヒナ (1) 22日夜巣立ち
 西巻 実
 8. 8 [中峠] ツミ (2) ヒナ
 笹川昭雄

- [宮後]
 5. 17 ホトトギス [大津ヶ丘]
 19 キセキレイ [塚崎]
 31 ホトトギス [大津ヶ丘]
 6. 8 ホトトギス [大井]

◇
 参考

◇
 春の渡り情報

- 志賀鉄雄
 4. 21 センダイムシクイ [増尾]
 22 サシバ [布瀬]
 23 アカハラ [若白毛]
 " サシバ "
 26 フクロウ [岩井]
 " サシバ [片山]
 " オオルリ [岩井・大島田]
 " センダイムシクイ、エゾムシクイ
 [大島田]
 30 キビタキ、センダイムシクイ
 ビンズイ [岩井]
 " センダイムシクイ [大島田]
 5. 1 フクロウ、サシバ [布瀬]
 3 オオルリ、サシバ [若白毛]
 " サシバ [大島田]
 " オオヨシキリ (初認) [上沼]
 " ムナグロ [上沼]
 8 コマドリ、メボソムシクイ
 [大島田]
 6 コルリ、コチドリ ["]
 10 キビタキ [宮後]
 " [藤ヶ谷]
 11 サシバ [大島田]
 16 セグロセキレイ (2) 幼 (3)

4. 29 [酒直] ツルシギ (20±)
 エリマキシギ (1) アオアシシ
 ギ (1) 大野真澄、川端英雄
 4. 30 [五香] エゾムシクイ
 今村智子
 6. 18 [大町自然公園] セグロセキレイ (親子)
 今村智子
 7. 24 [柏、小川向] サシバ (2)
 梅沢幸雄

ご 寄 附

一金 11,000円 齊藤健児様
 一金 500円 森 岳史様
 一金 10,000円 栄町町内会様
 一金 10,000円
 山階鳥類研究所様
 一金 6,110円
 奥日光探鳥会参加者一同様
 ご芳志有難く御礼申し上げます。

後記にかえて

銚子で、コグンカンドリとセグロアジサシ
 を見させていただきラッキー。(高橋記)

我孫子野鳥を守る会会報 第90号

発行人 坂巻忠雄 TEL (0471) 82-2268
 住所 我孫子市白山2-13-13
 振替 東京 4-51628 我孫子市湖北台7-1-401 中尾方
 我孫子野鳥を守る会 坂巻忠雄
 会費 年額 1,500円 (中学生以下 500円)